

経営健全化方針に基づく取組状況（平成30年度）

（作成日）令和元年6月28日

1. 法人名

株式会社ふかうら開発

2. 経営健全化方針を策定した理由

平成29年度決算において債務超過額が3,309千円となったため、策定したものの。

3. 財政的リスクの状況

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	目標達成年度 (令和7年度)
債務超過額 (千円)	3,309	16,042			0

4. 主な取組状況（平成31年3月末現在）

（1）法人自らによる経営健全化のための具体的な対応

経営健全化方針の策定が平成31年1月29日であり、策定から間もなく年度末となったが、策定作業と並行して下記の取組を実施した。

- 不採算部門であるガラス工場の冬期間の営業休止により、対前年比831千円のコスト削減を図った。
- インバウンドの誘致に向けて海外での営業活動を強化したことで、外国人宿泊者数が対前年比で325人増加した。
- しかしながら、西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震、さらには度重なる台風被害などが影響し、ウェスパ樺山においては入込客数が大きく減少するとともに、水産加工事業においては取引先の被災や物流の遮断等によって売上が大きく落ち込んだことから、結果として12,733千円の当期純損失を計上するに至った。

（2）地方自治体による経営健全化に向けた取組

町と会社、及び公認会計士をもって組織した「(株)ふかうら開発経営検討委員会」にて、当社における経営健全化方針を平成31年1月29日に策定した。

5. 当該法人の財務状況

【貸借対照表】

(単位：千円)

	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	目標達成年度 (令和 7 年度)
資産総額	117,244	96,344			
(うち現預金)	(32,647)	(12,593)			
(うち売上債権)	(10,935)	(11,903)			
(うち棚卸資産)	(43,516)	(45,673)			
負債総額	120,553	112,386			
(うち当該地方公共 団体からの借入金)	(0)	(0)			
純資産総額	▲3,309	▲16,042			3,785

【損益計算書】

(単位：千円)

	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	目標達成年度 (令和 7 年度)
経常収益	495,867	484,031			490,465
経常費用	492,681	493,692			483,028
経常損益	3,186	▲9,661			7,437
経常外損益	0	▲153			0
当期純損益	278	▲12,733			6,121